

ノートパソコンの必携化について

令和３年度入学生からノートパソコン必携化を実施しています。

香川大学では最新の高度情報化社会における ICT（情報通信技術：Information and Communication Technology）の十分な活用能力を有する人材を育成し、それらの技術を活用した教育の提供を目的に、令和３年度の入学生からパソコンの必携化を実施しています。

香川大学では対面講義に関わるレポート作成や論文作成、実験・実習でのパソコン利用をはじめ、e ラーニングとしてオンデマンド型講義やリアルタイム講義等の遠隔講義も視野に入れたインターネットとパソコンの使用など、大学生活の中で数多くの機会にパソコンとインターネットを活用します。

また授業の履修登録や成績閲覧の手続きを「香川大学教務システム“Dream Campus”」で、e ラーニングプラットフォームとして「香川大学 moodle」等の Web サイトを通じて行います。みなさんが大学を卒業した時には、獲得した知識と ICT スキルを十分に発揮できるように、学生に個人のノートパソコンを利用してさまざまな活動を行ってもらうことを目的としております。

これら ICT を活用した教育提供を目的に、講義等でのパソコン利用に備えて、持参できるよう準備しておいてください。

■目的

- 急速に進む高度情報化社会において ICT を十分に活用できる能力を有する人材を輩出。
- ICT を活用した先進的講義手法により教育力を強化。
- 各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進。

■メリット

- 場所や時間に捉われずにパソコンを用いた作業を行うことができ、効率的な学習が可能。
- 教材などを電子的に所持することができ、持ち運びの負担が軽減。
- 在学中だけでなく就職後にも必ず求められるセキュリティ管理を含む ICT 利活用能力、特に自身によるコンピュータの管理能力が身に付く。
- 能動的な学習を促す高度な教育手法を享受。

■施策

以下の施策を推進します。

- パソコンを活用した様々な形態での講義の充実
- 学内の無線 LAN（Wi-Fi）設備などパソコン利用環境の整備・充実
- 経済的理由によりパソコンを購入できない学生に対する対応

■対象

- 学部新入生
- 大学院新入生
- 編入学生（令和 4 年度については、第 2 年次編入の入学生のみ対象です。）

なお、香川大学ではアプリケーションソフトウェア（Microsoft Office など）とウィルス対策ソフトウェアをそれぞれ包括契約し、本学の学生・教職員が無料でこれらソフトウェアを使用できるよう支援しています。